

JTU-HYOGO

兵庫高等学校教職員組合  
日本教職員組合(日教組)

## 兵高教新聞

裏面

◇ 各種学習会 案内  
◇ 参院選の選挙制度解説 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp

発行人：西村恭介 編集：兵高教書記局

## 組織拡大・強化のとりくみをすすめよう

新年度が始まり、2カ月半が過ぎました。学校では中間考査も終わり、文化祭等の行事など多忙な日々が続いていることと思います。

今年度に入り、兵高教は数多くの新しい若いなかまを迎えることができました。各分会で組合員のみなさんが職場のなかまの声に耳を傾け、ていねいに相談に応じ信頼を得てくださっているからこそだと思います。みなさんの日々のとりくみに心より感謝いたします。

この間にも各学校でのさまざまな課題が書記局に寄せられています。中には、法令・規則等の理解不足から生じる管理職の対応により職場に混乱が生じている例もあり、その都度県教委各課の担当者と折衝し、ひとつひとつ解決に努めているところです。

もし、組合/兵高教がなかったら、これらの課題をどう解決していけばよいのでしょうか。個人の力で解決できることでしょうか。あらためて、なぜ教職員組合が必要か、確認しておきたいと思えます。

## 兵高教の役割

## ◆組織で課題解決

組合に加入していないと、職場で困りごとがあっても個人の方で解決するしかありません。

「自分は大丈夫」「何も困っていないから…」という声をよく耳にしますが、近年、組合員以外からも様々な相談事が兵高教に寄せられます。兵高教は結成以来県教委との間で確固とした信頼関係、パートナーシップ(確かな協議権)を築いてきましたが、組合として、組合員以外の方を具体的に支援できることは限られています。

組合に加入することで、組織的に支えていくことが可能になります。

## ◆正確な情報の入手

学校には独特の「学校文化」があり、学校で勤務しているうちに学校の慣例が「当たり前」であるように感じてしまう傾向に陥りがちです。

組合には、様々な校種や職種で働くなかまがいます。また、全国47都道府県にも組合に加入している多くのなかまがいます。連合を通じて、他業種の働くなかまとも出会えます。多様な人びとと交流することで、自分の職場の実情を客観視することができます。

新しい気づきを得ることで、「当たり前」と思っていた慣例に対して初めて声をあげ、改善していくことが可能になります。

## ◆教育研究活動

教職員組合として教育研究活動に力を入れています。さまざまな背景をもつ子どもたちに寄り添い、「人権」の視点から一人ひとりを大切にする教育実践を大切にしています。

授業や生徒支援の力量を高め、様々な教育課題にしっかりと向き合うために、県内で、また全国各地で開催される学習会・教育研究集会に参加することができます。

## ◆正しい権利行使

育児休暇をはじめとする休暇制度や諸手当など、これまでの組合活動で様々な権利を勝ちとってきました。一方で、正しい情報が得られないまま、権利行使ができない事案も発生しています。

兵高教では、教職員が正しく権利行使ができるように、組合員の声に耳を傾け、一人ひとりの組合員を支えています。

## ◆人事交渉

人事異動についても、組合員からの相談に ていねいに対応し、個々の事情や希望を詳細かつ正確に県教委に伝えています。

転勤や雇用の継続については、誰もが不安になることです。組合員が意欲をもって元気に働けるように尽力します。

## 2022年度 第1回青年部学習会

## 「沖縄から平和を考える」

とき:6月18日(土)14:00~16:30

ところ:神戸市教育会館

内容:5・15沖縄平和行進参加報告

平和学習ワークショップ

~教室での実践に向けて~ 他



ひとりで困っていたり、苦しんでいたりする子どもたちや職場のなかまがいませんか。

誰かが気にかけて、手を差し伸べてくれることを待っている人がいます。積極的に声をかけ、話をしてみましょう。

支え合う社会、協働・共生の学校づくりのために…。

## 日本教職員組合公式 LINE アカウント

日教組の活動について適宜情報発信を行います。  
ぜひ、登録してください!



兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU 日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。  
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

全国の友(仲間)と  
とことん語ってつながろう!

# 友に学ぶ・共に学ぶ

## 第13回 TOMO-KEN

### — 青年教育実践交流集会 —

通称「トモケン」。参加者一人ひとりが実践や課題・悩みをもちより、2日間かけて青年どうして語り明かします! 様々な職種の青年の参加があり、少数職種の方も参加しやすい会です!!

**とき** 2022年10月8日(土)~9日(日)

**ところ** 日本教育会館(東京都千代田区一ツ橋)

**内容** 1日目 全体会・分科会・夕食交流会  
\*分科会 ① 学校・学級づくり  
② 子どもに寄り添った授業づくり  
③ 「平和・人権・環境・共生」  
④ 協力・協働の職場づくり (「働き方改革」の視点を含む)

特別分科会 部活動、地域のスポーツ活動・文化活動 (少年団など)

2日目 分科会

~TOMO-KENに参加した仲間の声~

一人で抱え込むより、意見交換をしながら自分の思いを出すことで気持ちが楽になりました。また、様々なことを共有できたことがとてもよかったです。

一人ひとり、いろいろな話ができてよかったです! テーマは設定されているけれど、その場で出た話についても交流できたライブ感も良かったです!

参加を希望される方は書記局にご連絡ください。

## 2022年度北陸・近畿・東海ブロック合同 障害児教育学習会

**開催日** 2022年7月23日(土) オンライン開催  
(全体会 13:00~ / 分科会 15:15~)  
※入室開始12:40~

**全体会** 13:00~15:00  
**記念講演**  
村上紗楓(さやか)さん(大学生)  
講師: 村上悦子さん(保護者)  
近藤也寸嗣さん(前石川県教組障害児教育部長)  
※裏面に村上紗楓さんの紹介があります。

**分科会** 15:15~16:20

第1分会 : 就学と学習の権利保障  
第2分科会 A : 教育内容の創造と集団づくり  
第2分科会 B : 教育内容の創造と集団づくり  
第2分科会 C : 教育内容の創造と集団づくり  
第3分科会 : 進路保障  
第4分科会 : 寄宿舎のとりくみ

※今年度は第2分科会を3つのグループに分けてレポート報告をします。

[事務局] 石川県教職員組合金沢支部  
[連絡先] 石川県金沢市香林坊1丁目2番40号  
TEL: 076-232-1304 FAX: 076-264-2403

## 参議院の選挙制度

■投票は選挙区と比例代表で行います。

**選挙区**

選挙区

候補者名

↓

投票箱

選挙区は **候補者名** を記入します。

**比例代表**

比例代表

候補者名  
(または政党名)

↓

投票箱

比例代表は **候補者名** または「政党名」を記入します。

## 第26回 参議院議員通常選挙 必ず投票に行きましょう!

### 期日前投票の活用を!

公示日翌日から投開票日前日まで期日前投票が可能です。仕事や旅行・レジャーの予定がある、入院予定など様々な事由が対象です。確実に一票を投じるためにぜひ活用してください。

◆候補者名と政党名の合計得票数に応じて、各政党の議席数が決まり、さらに**候補者名**による得票数が多い順番で当選者が決まります。

選挙区・比例代表とも、必ず**候補者名**を記入しましょう!

## 教職員の働き方と労働時間の実態に関する調査

(1) 調査対象: 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校にフルタイムで勤務し、授業を持っている教員(再任用教員・臨時講師含む)

(2) 調査期間: 5月31日(火)~6月30日(木)

(3) 調査方法: 下記URLもしくは二次元バーコードからアクセスし、オンラインで回答してください。  
<https://rochokyo.gr.jp/rengo-soken/kyoin2022>  
詳細は兵高教新聞第688号(6/1発行)裏面をご覧ください。

※組合員以外の方にも回答を呼びかけてください。できるだけ多くの方の回答が得られるようご協力をお願いします。



# 古賀 ちかげ

こが

子ども 暮らし 平和

日政連・第26回参議院議員選挙候補予定者




koga-chikage.jp



Twitter